



相尾神社
水無月大祓

松明行列

たいまつぎょうれつ



平成29年6月30日(金)午後8時ころ
鶴岡市馬町 相尾神社前・宮下通り

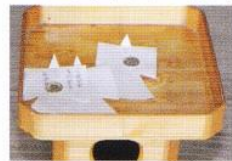
●制作・発行
●制作協力

出羽商工会青年部大山支部
相尾神社 鶴岡市大山自治会 大山観光協会

勇壮な松明たいまつ駆ける伝統の火祭り

6月30日 梶尾神社・水無月の大祓と松明行列

全国各地の神社では、半年の晦日（6月30日と12月31日）に万民の罪穢れを取り除く「大祓（おおはらい）」が行われます。6月の大祓は「水無月の大祓」と呼ばれ、鶴岡市馬町に鎮座する梶尾神社でも朝から氏子各町内を神輿行列が廻り、お祓いが行われます。氏子には事前に「人形（ヒトガタ）」が配布され、息を吹きかける等して罪穢れを遷し、神社に託します。



人形（ヒトガタ）

町内を一巡した後、かつて社があったとされる湯野浜の宮沢海岸に向かい、石碑（潮掛岩）の前に祭壇を設け大祓式を催行します。そして船で沖合に向かい、人形を孤包（こもつつみ）にまとめ、麻の輪とともに流します。

大祓を終えた一行は宮沢から馬町のお宮へ還りますが、夜道となるため「梶尾の神様が宮沢の洞窟から現在地に遷座した際、崇拝者たちが松明で道を明るく照らして迎え入れた」という言い伝えを基に、大祓式の神輿行列を迎え入れる前駆けとして地元住民や氏子らによる「松明行列」が行われます。創始は定かではありませんが、200年以上の歴史があると伝えられ、大きい菜種殻の松明を担いで走る——という類稀なる神事「火祭り」となっています。



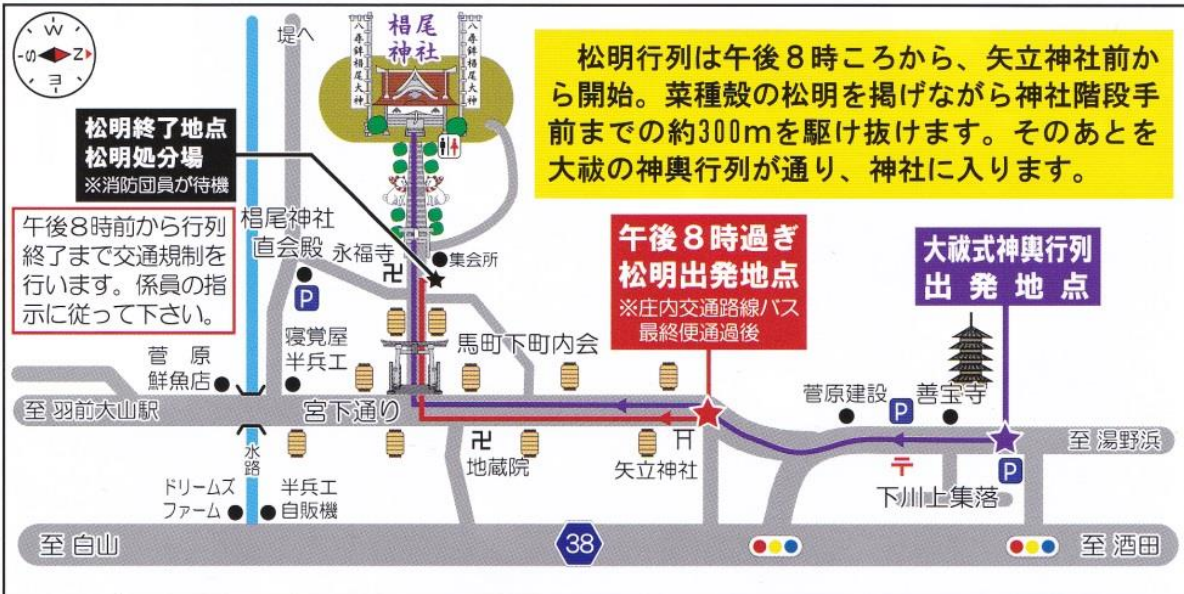
氏子各町内を廻り大祓を行う



宮沢海岸で行われる「大祓式」



船上から人形と麻の輪を流す



「尾浦の里」 伝統の火祭り“松明行列”を盛り上げます！

私たち出羽商工会青年部大山支部は大山地域の歴史ある祭りを盛り上げ、伝統文化を継承していこうと、6月30日の梶尾神社水無月大祓・松明行列に参加しています。

昨年からは三川町観光協会様の御協力を得て、5月5日開催の「菜の花まつり」の菜種殻を頂戴し、さらに馬町下町内会在住で元大山自治会長の中浜裕様の指導で松明作りにも取り組んでいます。今後は小学生親子、孫子を対象に、松明製作や松明行列に参加できるようにしていく予定です。

火の粉が天に舞う夜空。小さいころに見たドキドキ、ワクワクした気持ち。松明を引き、駆けたあの楽しさ…この思いを、地元に住む皆さんに広く知っていただきたい！ 皆さんぜひ見に来てください！

出羽商工会青年部大山支部一同



●詳細・問い合わせ ・出羽商工会大山支所 0235 (33) 2117 ・大山観光協会 0235 (33) 3214

「梶尾神社 水無月大祓・松明行列チラシ」 2017年（平成29年）6月発行

・発行者 出羽商工会青年部大山支部（支部長・三浦正信） ・協力 梶尾神社 鶴岡市大山自治会 大山観光協会